

防災について知ろう！体験しよう！

教科・場面

生活

授業・実践のねらい

- ・防災グッズの種類や使用方法を知る。
- ・地震が発生したときにどういう状況になるのか、防災グッズを使用しながら光や音を体験する。

対象の児童・生徒

小学部3年児童

教材・教具

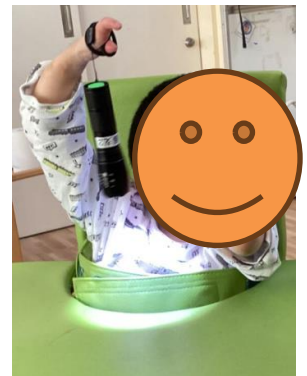
iPad、モニター、各自非常持ち出し袋、ヘルメット5個、懐中電灯大1個・小5個

工夫したところ

- ・アラーム音→地震音→消灯→懐中電灯使用と、震災を想定した流れを設定したこと。
- ・緊張を和らげられるよう、触れ合いあそびを取り入れたこと。

授業展開・教材の使い方・実践の内容など

- ①自分の非常持ち出し袋の中に何が入っているのか、どんなものが必要なのかを確認。
- ②実際にヘルメットや懐中電灯に触れ、使い方を実践する。
- ③地震発生時を想定し、アラーム音→地震音→消灯→懐中電灯使用の流れを体験。
- ④最後は、緊張感が和らげられるよう、触れ合いあそびで楽しみながら頭を守る活動をする。



授業・実践を通じた児童生徒の変容

防災グッズに興味を持って触れることができた。特に懐中電灯は、光にすぐに気付き照らされた所を見たり、操作を覚えて点灯し、自分で光を照らしたりする児童もいた。地震発生時を想定した場面では、アラーム音や物が揺れる音などに緊張感を持ち、静かに様子をうかがう姿が見られた。最後に触れ合いあそびを取り入れたことで、緊張を和らげながら活動することができた。